

異形鉄筋用チャック



■異形鉄筋用チャックの取扱説明

異形鉄筋用チャック

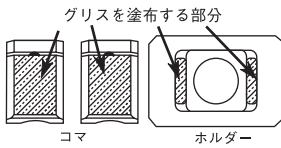
異形棒鋼に対するねじ切りが不要、即セットができます。外しやすい形状で試験時間を短縮でき、作業効率がアップします。小型、軽量で持ち運びに便利です。(小型収納ケース)

角型

メーカー サンコーテクノ 測定項目 引張荷重試験

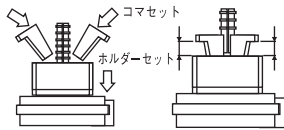
セット名	Aセット	Bセット	Cセット	特注品
測定鉄筋	D10~D16	D16~D22	D25~D32	D35、D38
セット内容	Aタイプホルダー D10用コマ D13用コマ D16用コマ 取り外し用ボルト	Bタイプホルダー D16用コマ D19用コマ D22用コマ 取り外し用ボルト	Cタイプホルダー D25用コマ D29用コマ D32用コマ 取り外し用ボルト	D35・D38兼用ホルダー D35用コマ D38用コマ

※特注品は、受注生産となります。 ※上記セットは、単体(部品)注文も可能となっております



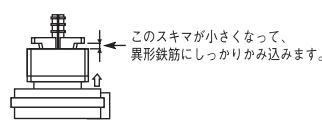
① 準備
ゴミや汚れをウエスなどで取り除きます。
※ゴミが残っていると、異形鉄筋用チャックをいためたり、取りはずしにくくなります。ゴミはきれいに取り除いて下さい。

清掃後、矢印が示す部分にグリスを塗布すると荷重解放時に、異形鉄筋用チャックが取りはずしやすくなります。



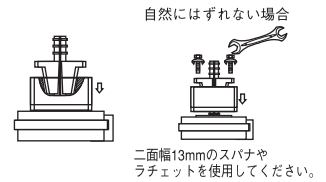
② 異形鉄筋用チャックのセット
コマとホルダーの隙間が左右均等に成るようにセットします。

※この時、異形鉄筋用チャックをたたき入れる必要はありません。たたかないで下さい。



③ 荷重の負荷
荷重を加え、試験をおこないます。

※コマとホルダーのスキマが1mm程度になり、加重が上がらなくなったら試験を中止し、異形鉄筋用チャックのサイズを確認して下さい。



④ 異形鉄筋用チャックの取りはずし
荷重を解放すると、異形鉄筋用チャックは外れます。

※荷重を解放してもはずれない場合は付属のボルトをねじ込んで、異形鉄筋用チャックをはずします。この時、両方のボルトには均等にトルクを掛けて下さい。



※異形鉄筋にねじ加工は不要です

適応異形筋	ジョー	ハウジング	座金
D10	10K	10・13K	小
D13	13K		
D16	16K	16・19K	
D19	19K		
D22	22K	22・25K	中
D25	25K		

異形鉄筋用チャックセット

異形棒鋼に対するねじ切りが不要な試験補助治具。汎用性の高いD10~D25までの6種類を、お得なセットに致しました。

Dセット(丸型)

メーカー 協和機材 測定項目 引張荷重試験

測定鉄筋	D10~D25
セット内容	兼用ハウジング×3種、ジョー×6種、座金×2種

※上記セットは、単体(部品)注文も可能となっております

■取扱方法

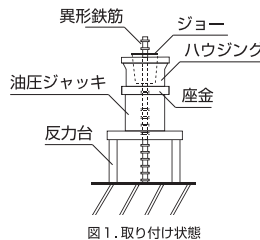


図1. 取り付け状態



図2. ジョーのセット



図3. 取り外し

1. 取り付け方法

- ① 反力台・油圧ジャッキ等引張試験機をセットする。
- ② 座金を油圧ジャッキの上に乗せる。※座金を忘れると取り外しが大変になるので注意!
- ③ ハウジングを座金の上に乗せる。
- ④ ジョーをハウジングの中に入れる。この時、左右のジョーの高さをそろえて手で軽く押し込む。これで取り付け完了。油圧を加え引張試験を行う。

2. 取り外し方法

- ① 油圧を抜いて引張荷重を除く。
- ② 座金を抜き取る。
- ③ ハウジングのふちをハンマーで軽く叩いて下にずらす。
- ④ ジョーを本体の中から抜き出す。



異形鉄筋用チャック

異形棒鋼に対するねじ切りが不要な試験補助治具。ニーズに応え、最大径D51まで各サイズをご用意。

大型サイズ(丸型)

メーカー トラスト 測定項目 引張荷重試験

測定鉄筋	D35、D38、D41、D51
セット内容	ハウジング、ジョー、座金

